

<本年度会長方針>

あらためてロータリーを考えよう No.1137

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日 12:30 例会場 名古屋東急ホテル
会長 川畑 博敬 事務局 名古屋市中区栄4丁目6番5号 丸越ビル6F
幹事 田崎雅三 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008
URL http://www.nagoya-osu.org E-mail office@nagoya-osu.org



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

第1336回例会

職業奉仕月間

・米山月間

4RCC合同例会

平成23年

10月11日(火)

於 名古屋観光ホテル

会員 60名

出席計算数

49名中39名出席

出席率79・59%

前々回出席率90・20%



「ロータリーソング」

「我等の生業」

ソングリーダー

名古屋大須RCC 鬼頭 茂成

ピアノ伴奏 富板 玲子

「ニコボックス」

4RCC合同例会よろしくお願ひします。川畑 博敬・田崎 雅三
名古屋中RCCの阿部博さんお世話になりました。吉田 隆彦
先週妻の誕生日でした。近藤宏一郎

富士山登頂みんなで成功しました。尾上團長始めお世話になりました。松本 哲朗

「4RCC正副会長紹介」(敬称略)

名古屋RCC 会長 夏目 和良

副会長 吉田 雅樹

名古屋中RCC 会長 渡邊 一平

副会長 田島 慶雄

名古屋大須RCC 会長 川畑 博敬

副会長 高木 政義

名古屋栄RCC 会長 原野 勝至

副会長 國分 義雄

会長挨拶

名古屋RCC 会長 夏目 和良さん



本日は10月11日、中・大須・栄・名古屋の4RCC合同例会です。皆様におかれましては多数のご出席をいただき有難うございます。それぞれの会長もおいでの中、僭越でございますが私からご挨拶申し上げます。

毎年この時期に開催される合同例会ですが、前回からはや1年が過ぎ、世の中も色々なことがありました。少し振り返ってみたいと思います。

3月の大震災前の1年は、国内

では口蹄疫の流行、政治の混迷、田高と株安、「無縁社会」の深刻化など、未来への希望を感じさせない出来事が多かった中で、小惑星探査機「はやぶさ」の帰還や、ノーベル化学賞を2人の日本人が受賞、クリスマスから今年1月にかけては児童養護施設に匿名で寄付を行う「タイガーマスク運動」が全国的に広がったりと明るい話題もいくつかありましたし、なでしこジャパンの大活躍は申し上げるまでもございません。また、昨日は中日ドラゴンズが天王山の第1戦に勝ち、優勝に向けていよいよ攻勢をかける期待しております。

一方海外では、チリの鉱山落盤事故で33人が奇跡的に全員救出され、お隣中国の上海万博も大盛況でした。しかし、チュニジアに始まった中東・東アフリカの反政府デモは各国に拡大し、リビアでのカダフィ政権崩壊は記憶に新しいところではないかと思えます。

しかし、何と言っても3・11の東日本大震災を抜きにしてこの1年は語れません。震災の前後では世の中や人々の考え方が大きく変わってきております。被災地では長期にわたる復興支援活動が進む一方で、今でも多くの人が苦し

み、心に傷を負いながら毎日を必死に戦っています。箱根の山の東と西では今回の大震災、原券問題

に対する感覚にとついても温度差がありますが、発生から半年以上が経過し、今私たちにとつて一番重要なことは「情報に対する「慣れ」と「色んな問題を「風化」させること」を避けることだと思

います。石巻日日新聞は、宮城県石巻市にある社員数が30名に満たない地方新聞社ですが、停電と津波により社屋が浸水し、輪転機が水没した中で、濡れなかつた新聞ロール紙に懐中電灯で照らしながらマジックペンで書き込んだ「号外」壁新聞を発行しました。このことはフシントンポストを通じて世界中に大きく報道されましたが、これは「市民への情報提供が最大の使命である」と意地と誇りを持って取り組んだ社員の心意の表れだと思えます。そんな彼らは、今ももろろん地道に取材をし続けていますが、今一番大切なことはやはり「震災を風化させないことだ」と述べています。

被災地から比較的遠く離れた私たちも、いかに同じ日本人として気持ちを持共有し、被災地を支援するために必要な痛みを分かち合う覚悟が出来るかどうか問われています。

翻ってロータリーについて考えますと、R-会長のカルヤン・バナネルジー氏は、テーマに「こころの中をみつめよう 博愛を広げる

ために」と掲げ、ロータリーの奉仕において3つの強調事項に注力したいと述べており、それは「家族」「継続」「変化」でありました。詳細は割愛致しますが、今ほどこれらが求められている時期はないと思えますし、我々ロータリアンが力を合わせて「ロータリー家族」としても、出来ることを着実に実践して「3つの」が必要であると思えます。

また、松前カバナーは「会員増強」を前面に強く掲げていらつやいます。ロータリアンの数は14年連続で減少しております。これは日本のロータリーの非常事態であり、会員増強を強くしてロータリークラブの未来は語れないと強く述べられていますし、会員増強が「ロータリー家族」の更なる強化に繋がっていくと私も理解しております。是非とも皆さんで協力し合って、当地区の目標である会員5,000人クラブに向けて頑張ってくださいと思います。

本日の合同例会は、普段とはまたひと味違う雰囲気の中で交流を深めていただければ幸いです。どうぞお時間の許す限り楽しんでお過ごし下さい。有難うございました。

■乾杯

名古屋大須RC

会長 川畑 博敏さん

本口、「出席の皆様のご健康と

より一層のご繁栄を祈念いたしまして乾杯をいたします。ご唱和お願いいたします。乾杯！



ありがとうございます。

■幹事報告並びに出席報告(敬称略)

- 名古屋RC 幹事 盛田 宏
- 名古屋中RC 幹事 川島 悦雄
- 名古屋大須RC 幹事 田崎 雅三
- 名古屋栄RC 幹事 羽田野道明

■ニコボックス報告(敬称略)

- 名古屋RC 石井 隆一
- 名古屋中RC 清水 盛幸
- 名古屋大須RC 松本 哲朗
- 名古屋栄RC 後藤 康史

■国際ロータリー・ニュース

2011年10月4日
職業奉仕月間に寄せて

職業倫理とスキル向上を目指す第6440地区(米国イリノイ州)ガバナーでノースブルック・ロータリー・クラブ会員のカルロス・フルムさんは、地区がグアテマラで実施している職業奉仕プロジェクトの一環として、マヤの高

校生たちにビジネスの原則を教えています。

「職業奉仕の活動を通じて、恵まれない人々に貧困から抜け出す道を示し、自信を与えることができ、私たちがロータリアンとして、職業奉仕のリーダーシップを發揮し、倫理を奨励していく責務がある」とフルムさん。

職業奉仕推進委員会の副委員長で元RI理事のポール・ネットエルさんは、「ロータリーの職業奉仕で学んだ倫理観は、仕事面だけでなく、人生にも実りをもたらしてくれたと言います。職業人のあるべき姿勢としてロータリアンが掲げている「四つのテスト」とロータリアンの職業宣言については、「仕事で、重要な決定を下す場面が何度もありましたが、その度に『四つのテスト』に従ってまいりました。そのおかげで、良いロータリアンになることができたと思います。ロータリーと他団体との違いは、職業奉仕にあります」と話します。

■職業奉仕の推進例

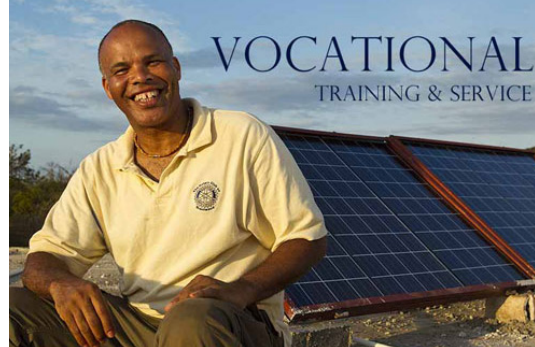
- 多様な職業の新人会員を募ることに重要性を強調する。
- 職業に焦点を当てたクラブ活動を立案する。
- クラブや地区レベルで、倫理を重視するビジネスネットワークを築く(若い世代への指導も中心)

「四つのテスト」と「ロータリアンの職業宣言」とのつながり、およびロータリーの価値におけるその重要性を伝える

■職業奉仕についての情報

職業奉仕入門(PDF)
http://www.rotary.org/RI_documents/ja/pdf/255i_a.pdf

- 職業奉仕についてのパワーポイントのプレゼンテーション
- モデルプロジェクト提出書式のダウンロード



(記事 Ryan Hyland)

RI ホームページより
<http://www.rotary.org/ja/MediaAndNews>

■「職業奉仕入門」(一部抜粋)

ロータリーの会員資格は会員の職業に基づいており、各クラブは地元地域社会の事業と専門職務の縮図をクラブで再現するよう努め

ています。このような独自の試みが、ロータリーが長きにわたって取り組んできた「四大奉仕部門」の第一部門、職業奉仕の原動力を生み出しています。職業奉仕を通じて、ロータリアンはすべての取引における高い倫理基準を守り、これを推進し、あらゆる有用な仕事の価値を認め、自己の職業上の専門知識や技能を社会の問題やニーズに役立てるよう期待されています。

職業奉仕を推進する責務は、ロータリー・クラブとクラブ会員の両方にあります。各クラブは、会員の職業的スキルを發揮できるようなプロジェクトを実施すべきです。また、クラブ会員は、そのようなプロジェクトに貢献し、ロータリーの原則に沿って自らの事業や仕事を律することが求められています。

10月27日(木) 例会の案内

職業奉仕委員会電話

地区職業奉仕委員会

勸柄 喜彦さん
(名古屋栄RC)

広報委員会

- 酒井 修・吉田 明夫
- 松永 裕子・小野 定男
- *本文は、原則、頂いた原稿を転載しています。